

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-136	16-313	慶應義塾大学
題名 (原題/訳) Moderate alcohol consumption in chronic form enhances the synthesis of cholesterol and C-21 steroid hormones, while treatment with <i>Tinospora cordifolia</i> modulate these events in men. 慢性的中等度のアルコール消費はコレステロールと C-21 ステロイドホルモンの合成を増強し、男性への <i>Tinospora cordifolia</i> による治療はこれらの出来事を調整する		
執筆者 Kumari S ¹ , Mittal A ² , Dabur R ³ .		
掲載誌 Steroids. 2016 Oct;114:68-77. doi: 10.1016/j.steroids.2016.03.016		
キーワード メタボロニクス、アルコール依存症、バイオステロイド、男性ホルモン		PMID: 27016128
要 旨 <p>慢性的な大量のアルコール消費は、脂質代謝とテストステロンのレベルを含むホルモン・バランスを損なう。しかしながら、いくつかの研究は適度なアルコール摂取と性ホルモン・レベルとの関係に疑問を呈している。従って、今回の調査の目的は、慢性的な適度なアルコールの摂取がコレステロール・ホメオスターシスとステロイドホルモン合成への直接的な影響についての確立した結果をだすことである。慢性肝疾患のない無症候性の常習的および適度なアルコール依存患者 (n=12) と健常ボランティア (n=14) を本研究のために選択した。さらにまた、かなり報告があるアルコールに対するハーブの薬として知られる <i>Tinospora cordifolia</i> (Willd) Mier (ツヅラフジ科) (TCJ) の標準的な水のエキス、尿ステロイドにおよぼす影響を検討した。</p> <p>本研究では、次の4つの群をおいた。a) 健常者; b) 健常者+TCJ; c) アルコール依存患者; d) アルコール依存症者+TCJ。血液と尿サンプルは、TCJ 治療投与の0日と14日目に各群から採取し分析した。アルコール依存症者の血液サンプルは、健常者と比較してコレステロール、LDL、TGLと尿メチルグルクロニドに加えて従来の生物マーカーであるγ-GTとMCVで有意により高値を示した。</p> <p>ステロイドの定性分析では、慢性の適度なアルコール摂取はコレステロール合成を増加させ、C-21ステロイドへ流れを向けることを示した; そのことは、コルチコステロン(2.456倍)とコルチゾール(3.7倍)のレベルの増加で示された。さらに、アルコール摂取はグルクロニドの形成を通して、エストラジオールの合成と他のステロイドのクリアランス率を増加させた。従って、それは、テストステロン(T)とアンドロステンジオン(A)の合成を減少させてクリアランス率を上昇させた。定量的分析では、アルコール依存患者のT/A比率を血漿レベルでは2.31から1.59へ、尿サンプルでは2.47のから1.51まで減少させることを確認した。TCJ介入はステロイドのレベルを正常化して、T/A比率を血漿で2.0、尿で2.12と有意に改善した。本研究で、TCJがコレステロールとグルクロニド合成を抑制することによって脂質代謝を変化させることが明らかになった。</p>		